



## 特集

# 子どもたちに よりよい教育環境を

問合せ 教育総務課 (☎ 76 - 1164)

## 学校が抱える大きな課題

### 児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進行

#### 1 学年 1 クラスとなるなど、小規模校には多くの課題が…

##### 人間関係面

- ・ クラス替えができず、子どもの関係が固定化
- ・ 多様な考え方・価値観にふれることが難しくなる
- ・ 自分に合った相談しやすい教員が少なくなる

##### 教育面

- ・ 社会性や協調性を伸ばす機会が少なくなる
- ・ 切磋琢磨する教育活動ができなくなる
- ・ 部活動、委員会等で選択肢が少なくなる

## 適正な学校規模を維持へ、学校再編を検討する必要

学校教育では、子どもたちが多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要です。このような教育環境を確保するためには、子どもたちが一定規模の集団生活の中で多くの人と関わり合いながら生き生きと学び合う学校生活を送ることができる学校規模が必要です。

子どもたちにとってより望ましい教育環境を実現し、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化等に対応するため、適正規模の学校を適正に配置することを基本的な考え方とし、学校再編の検討を進めます。



# データでみる学校の未来

## ポイント①

### 児童生徒数の減少により、多くの学校で 1 学年 1 クラスに

何が問題？

教育面で多くの課題に直面

例えば

#### クラス替えができない

- ・多くの友だちや先生と学び合いながらの成長が困難
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動が困難
- ・希望する部活動への参加ができない

### 児童生徒数の推移・推計

⇒ピーク時の約 60%まで減少



### 学級（クラス）数の推計（令和 15 年度）

〈小学校〉 16 校

地区	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小牧	小牧	4	4	4	4	4	4
	小牧原	3	3	3	3	3	3
	小牧南	4	4	4	4	4	3
小牧南	米野	4	4	4	4	4	4
	村中	2	2	2	2	2	2
巾下	三ツ瀧	1	1	1	1	1	1
	味岡	4	4	4	4	4	4
味岡	一色	3	3	2	2	2	3
	本庄	2	2	2	2	2	2
	篠岡	1	1	1	1	1	1
篠岡	桃ヶ丘	1	1	1	1	1	1
	陶	1	1	1	1	1	1
	光ヶ丘	1	1	1	1	1	1
	大城	1	1	1	1	1	1
北里	北里	2	2	2	2	2	2
	小木	1	1	1	1	1	2

〈中学校〉 9 校

地区	学校名	1年	2年	3年
小牧	小牧	6	6	6
小牧南	応時	5	6	6
巾下	小牧西	2	2	2
味岡	味岡	5	5	5
	岩崎	4	4	4
篠岡	篠岡	1	1	1
	桃陵	2	2	2
	光ヶ丘	2	2	2
北里	北里	4	3	3

児童生徒数は減少傾向にあり、令和 15 年度の学級数の推計では、多くの学校で学級数が減少し小規模化が進み、特に、三ツ瀧小・篠岡小・桃ヶ丘小・陶小・光ヶ丘小・大城小・篠岡中の 7 校では、全ての学年で 1 学級となる見込みです。学校の小規模化が進むと、教育面や学校運営面でさまざまな課題に直面することになります。

## ポイント②

### 多くの学校が 老朽化

市内 25 校を全て建替えることは困難

### 学校の築年数と割合（令和 6 年度）

⇒小学校の 50%、中学校の 33%が築 50 年以上

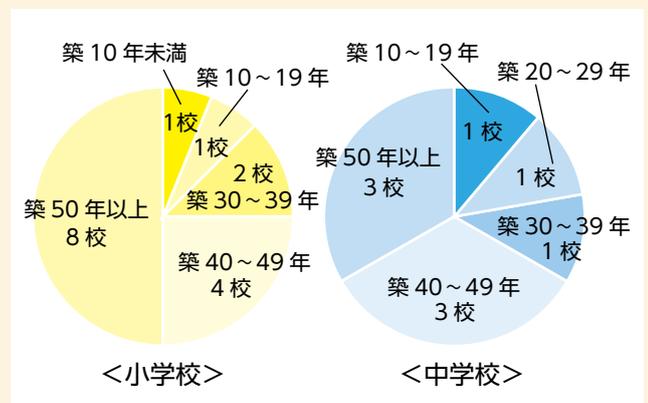
〈小学校〉 16 校

地区	学校名	築年数
小牧	小牧	13
	小牧原	49
小牧南	小牧南	3
	米野	55
巾下	村中	60
	三ツ瀧	63
味岡	味岡	58
	一色	55
	本庄	49

地区	学校名	築年数
篠岡	篠岡	66
	桃ヶ丘	49
	陶	40
	光ヶ丘	37
北里	大城	35
	北里	62
	小木	50

〈中学校〉 9 校

地区	学校名	築年数
小牧	小牧	27
小牧南	応時	51
巾下	小牧西	42
味岡	味岡	10
	岩崎	47
篠岡	篠岡	59
	桃陵	43
光ヶ丘	35	
北里	北里	61



多くの学校で老朽化が進んでおり、対策が必要な状況にあります。市の財政が厳しさを増す中、負担を一時期に集中させないために、無理のない建替えを計画的に実施する必要があります。

今後は、将来を見据えて、より望ましい教育環境の整備のために学校再編を考えていかなければなりません。

# 学校再編のイメージ

子どもたちが一定規模の集団生活の中で多くの人と関わり合いながら学び合い、学校生活を送るために、本市における学校の適正規模を1校あたり12学級から24学級を標準とすることを考えています。

学校の適正規模を確保する観点から、再編のイメージを下記のとおり示していますが、このイメージは令和15年度の児童生徒数の推計および適正規模・適正配置の

基準に基づいた必要学校数のイメージであり、具体的な再編案は、今後、地域の実情に合わせて地域別の再編計画を策定していく中で検討していきます。

また、再編のイメージの中で、学校数の変更がない地区の学校も、隣接する地区の再編を検討する中で、通学区域の見直しなども検討していきます。

## 【巾下地区】

小学校：2校⇒1校

中学校：1校⇒0校

(隣接地区の中学校へ統合)

## 【味岡地区】

小学校：3校⇒2校

中学校：2校⇒2校

● 小学校  
● 中学校

## 【小牧地区】

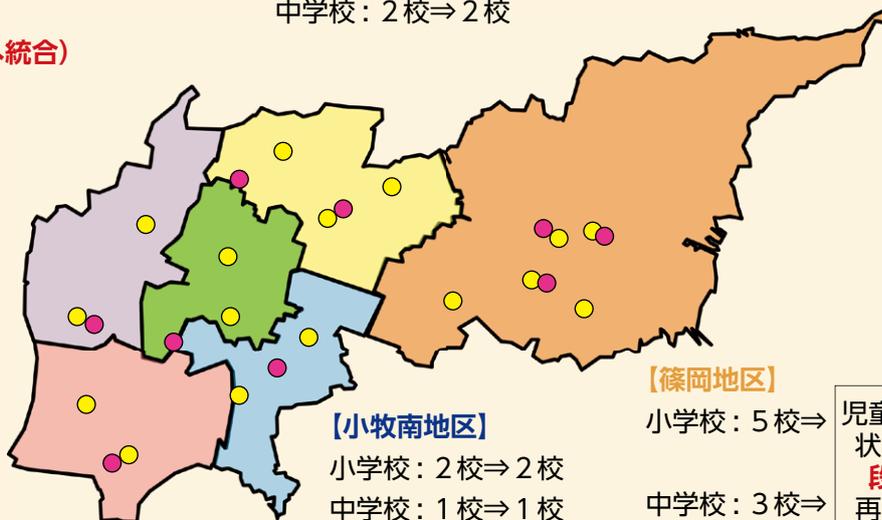
小学校：2校⇒2校

中学校：1校⇒1校

## 【北里地区】

小学校：2校⇒1校

中学校：1校⇒1校



## 【篠岡地区】

小学校：5校⇒

児童生徒数の状況により  
段階的に再編を行う

⇒1校

中学校：3校⇒

⇒1校

## 【小牧南地区】

小学校：2校⇒2校

中学校：1校⇒1校



▲ 5/25 に開催したタウンミーティングで話す中川教育長



◀ タウンミーティングでの「学校教育を取り巻く課題について」をまとめた動画

児童生徒数の減少と学校施設の老朽化による学校再編という難しい課題が目の前にある中、子どもたちの夢への挑戦をまち全体で応援していくため、10年先、20年先を見据えて、よりよい教育環境の充実に努めていきます。

社会がますます多様化や複雑化していくと見込まれる中、子どもたちには、「正解のない問題に取り組み、よりよい解決策や新たな価値を見つける力」が必要となります。そのためには、子どもたちが多くの友達や先生と関わっていく中から新たな気づきを見つけ、多様な考えを認め合いながら学びを深めていくことを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく必要があります。

ますます少子化が進む状況の中、本市も今後、多くの学校で小規模化が進行していきます。また、多くの学校施設は老朽化が進み、子どもたちが安全に安心して学ぶことのできる教育環境を確保していかねばなりません。

将来を担う子どもたちのために

## パブリックコメント

### 新たな学校づくり推進計画（案）に係る意見募集

新たな学校づくり推進計画検討委員会および小牧市新たな学校づくり推進計画調査検討部会での議論を経て計画案を作成しました。学校の適正規模を確保する観点から、学校再編のイメージもまとめています。

#### ■閲覧場所

ホームページ、教育総務課、情報公開コーナー、東部・味岡・北里の各市民センター・図書室、ゆうせいび、ふらっとみなみ

#### ■意見提出方法

7/10(水)～8/9(金)(必着)に、提出フォームまたは所定の用紙(閲覧場所に用意)を郵送、FAX、メールまたは直接教育総務課

皆さんの意見を募集します